

平成31年度 福生市教育方針

平成31年第1回市議会定例会において、川越教育長が、福生市教育方針を述べました。要旨は次のとおりです。

教育を取り巻く社会状況は、急速な科学技術の発展と地球規模で人類が直面する諸課題の発生により、予測不可能な時代と言われています。また、私たち一人一人が変化する社会に適応しながら主体的、協働的に生き抜く力を身に付けていくことが求められる社会でもあります。21世紀社会では、能動的な学習を生涯にわたって継続する力が必要になってきます。

子どもたちが自分の価値を認識し、かつ他者の価値も尊重することができるよう、よりよい社会の担い手となることができるよう、福生市教育委員会は、引き続きその環境づくりに全力で努めてまいります。

福生市教育委員会は平成31年度に、福生市教育振興基本計画修正後期の最終年に入ります。新たに策定される福生市総合計画を受け、2020年度以降の新たな福生市教育振興基本計画を策定いたします。併せて、計画の具現化に向けた実践策を検討するため平成25年度に設置したふっさつ子未来会議の第二次会議を設置いたします。

第一次提言からの引き続

く課題と併せて、学区の諸課題等は喫緊の課題となりつつあります。公共施設の老朽化対策などの教育環境や学校機能、そして中学校の将来の構想、方向性を協議し、明確なビジョンを持つ段階的に展開すべき時がきていると認識しております。これらの問題について、「第二次ふっさつ子未来会議」を設置し、検討を行い、対応策の提案を行ってまいりたいと考えています。

基本方針1「子どもたちの生きる力の育成」では、児童生徒の学力向上策の着実な展開を進めてまいります。学習指導要領では、全教科のこれまでの目標や内容に加えて、どのように社会・世界と関わり、より良い人生を送るか、といった学びに向かう力、人間性等を育むことを求めています。育成すべき資質・能力を明確にし、授業改善に向けた指導・支援を引き続き実施してまいります。

特別支援教育の充実では、福生市特別支援教育推進計画第二期・第一次実施計画の着実な推進とインクルーシブ教育、合理的配慮を指導の観点として明確化を高め、同時に就学相談の精度を高めてまいります。そして、2020年度から完全実施となる中学校全校における特別支援教室の設置に向けてその準備を着実に進めてまいります。

不登校対策の充実では、福生市立学校の不登校総合

対策を着実に推進するとともに、いじめ防止対策の確実な推進については、基本方針に沿って進めてまいります。

学校における働き方改革の推進については、中学校部活動の負担軽減のための部活動指導員の配置や教員の業務負担軽減のためのスクール・サポート・スタッフの配置も順次段階的に配置できるように進めてまいります。

基本方針2の「信頼される学校づくりの推進」では、地域社会総がかりの教育として、コミュニティ・スクール制度の円滑な導入と推進を計画通り実施いたします。平成31年度は、3校を新たに指定し、本制度についての学校や地域の理解促進を進め、学校と社会が連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指してまいります。

学校給食では、最新の設備を活かし新たな献立に取り組み、年間を通じ、安全で安心な学校給食を提供し、食育を推進してまいります。

基本方針3の「生涯学習社会の推進」では、2019年7月より、建替え、移転の完了した扶桑会館の供用開始を予定しており、指定管理者制度の導入により円滑な管理運営を図ってまいります。

「ふっさつ子グローバルヴィレッジ事業」では、これまで実施した内容やプ

ログラムを精査し、子どもたちの異文化交流を図ることと、福生市英語教育推進計画で掲げるグローバル人材としての資質を養ってまいります。

スポーツ分野では、福生市スポーツ推進計画を着実に推進するとともに、市営競技場では、人工芝工事等を実施し、競技人口の拡大を図るとともに、利用者の利便性の向上を図ってまいります。

公民館では、講座等の学習成果を個々の学びから地域や他者に広げていくため、職員が人と人、地域、諸団体間をつなげる役割を担い、さらなるネットワークづくりに努めてまいります。

図書館では、図書館基本計画及び第三次福生市子ども読書活動推進計画に基づき、読書環境の充実を図ってまいります。

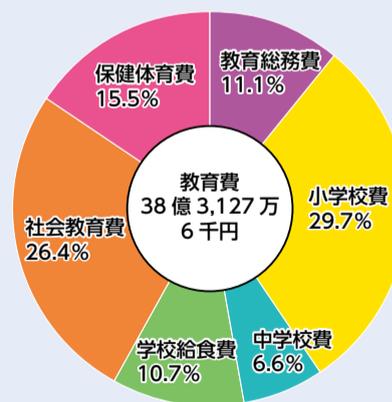
基本方針4、「地域の教育力の向上」として、平成29年度から本格実施をいたしておりますタブレットを使った家庭学習の充実をさらに研究的視点をうけ、その有効性を高める実践を進めてまいります。

平成31年度実施計画から主な取組を紹介します

- 福生第三小学校において、習熟度別少人数指導等のきめ細やかな指導展開を実施するため、教室の増築を行います。
- 教育支援委員会委員について、学識経験者の配置を行い、指導・助言を受け、適切な就学につなげる体制の充実を図ります。
- 授業及び校務にICT機器を活用した学習活動の充実を図るため、中学校に校内LANを整備するとともに、パソコン教室のノート型パソコンをタブレット型端末へ更新します。
- 特別支援教育のさらなる充実を図るため、中学校に特別支援教室の教材等の整備を実施します。
- 中学校に専門的知識を有する部活動指導員を配置し、部活動指導、大会引率等を担ってもらい、教員の業務の負担軽減を図ります。
- 防災食育センターの展示見学ホールや研修室を活用して、児童生徒の食育の推進を図ります。
- 市営競技場の人工芝化及び管理棟のバリアフリー化等改修工事を行います。
- 市民会館舞台装置等の改良を行い、施設を良好な状態に保ち、利用者に快適な学習・文化活動の環境を整えます。

平成31年度教育費予算の内訳

平成31年度福生市一般会計予算250億8千万円が3月の市議会定例会で認定されました。そのうち教育費は15.3%の38億3,127万6千円の予算額となりました。



- 教育総務費 4億2,569万3千円**
教育委員会とその事務局、小中学校の教育指導に要する経費
- 小学校費 11億3,700万4千円**
学校の運営、学校施設の整備に要する経費
- 中学校費 2億5,144万5千円**
学校の運営、学校施設の整備に要する経費
- 学校給食費 4億903万円**
学校給食の調理及び設備に要する経費
- 社会教育費 10億1,217万円**
公民館、市民会館、図書館、プチギャラリー、茶室の運営や、青少年の健全育成、文化財保護などに要する経費
- 保健体育費 5億9,593万4千円**
体育館及び屋外体育施設の管理、スポーツの推進事業に要する経費

教育委員に坂本和良氏が
再任されました

教育委員の任期満了に伴い、坂本和良氏が3月の市議会定例会において同意され、教育委員に再任されました。
任期は2019年4月1日から2023年3月31日までです。



坂本和良氏

問合せ 教育総務課教育総務係
☎551・1930
寄附をいただきました

○青梅信用金庫から現金20万円と TENTO1張が寄贈され、テントは福生第一中学校に配置します。
○公益社団法人日本一輪車協会から一輪車10台が寄贈され、福生第四小学校に配置しました。寄贈された一輪車は一般財団法人日本宝くじ協会の助成によるものです。
○日本マクドナルド(株)から防犯ホイッスルが寄贈されました。ホイッスルは全小学校の新一年生に学校を通じてお渡しします。



問合せ 教育支援課学務係
☎551・1948